

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2019-41468 (P2019-41468A)

【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2017-160811 (P2017-160811)

【国際特許分類】

B 6 0 L 3/00 (2019.01)

B 6 0 L 9/18 (2006.01)

B 6 0 L 50/40 (2019.01)

B 6 0 L 50/50 (2019.01)

B 6 0 L 53/00 (2019.01)

B 6 0 L 55/00 (2019.01)

B 6 0 L 58/00 (2019.01)

H 0 2 J 1/00 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 L 3/00 J

B 6 0 L 9/18 P

B 6 0 L 11/18 A

H 0 2 J 1/00 3 0 9 W

H 0 2 J 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 26 日 (2019.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

また、第 1 電力供給経路 3 0 A と第 2 電力供給経路 3 0 B との間を接続する接続導電路 3 1 と、接続導電路 3 1 に配され、接続導電路 3 1 の通電をオンオフする分離リレー 3 2 と、を備え、制御部 2 8 は、検出部 2 7 が第 1 電力供給経路 3 0 A 及び第 2 電力供給経路 3 0 B に異常が生じていないことを検出したときには、分離リレー 3 2 をオン状態とすることにより接続導電路 3 1 を通電させるとともに、検出部 2 7 が第 1 電力供給経路 3 0 A 及び第 2 電力供給経路 3 0 B の少なくとも一方に異常が生じたことを検出したときには、分離リレー 3 2 をオフ状態とすることにより接続導電路 3 1 の通電を遮断する。

このようにすれば、第 1 電力供給経路 3 0 A 及び第 2 電力供給経路 3 0 B に異常が生じていないときには、分離リレー 3 2 がオン状態とされて接続導電路 3 1 が通電可能な状態となるため、第 1 高圧バッテリー 2 1 A 及び第 2 高圧バッテリー 2 1 B の双方の電力を使用して、第 1 のモータ 2 5 A 及び第 2 のモータ 2 5 B の駆動が可能になる。また、第 1 電力供給経路 3 0 A 及び第 2 電力供給経路 3 0 B の少なくとも一方に異常が生じたときには、分離リレー 3 2 がオフ状態とされて接続導電路 3 1 の通電が遮断されるため、一方の電力供給経路 3 0 A (3 0 B) の異常が正常な他方の電力供給経路 3 0 B (3 0 A) に及ばず、正常な電力供給経路 3 0 B (3 0 A) によりモータ 2 5 B (2 5 A) に電力が供給されるため、車両 1 0 の駆動を継続することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

(3) 検出部 2_7 及び制御部 2_8 は、システム制御 ECU 2_6 に設けたが、これに限られない。例えば、検出部 2_7 と制御部 2_8 とを異なる ECU に設けてもよい。

(4) 上記実施形態では、車両 10 は、電気自動車としたが、これに限られない。例えばハイブリッド自動車としてもよい。